

学校に関するアンケート結果について

初春の候、保護者様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。  
さて、先日は学校評価のためのアンケートに御協力をいただきましてありがとうございました。その結果につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

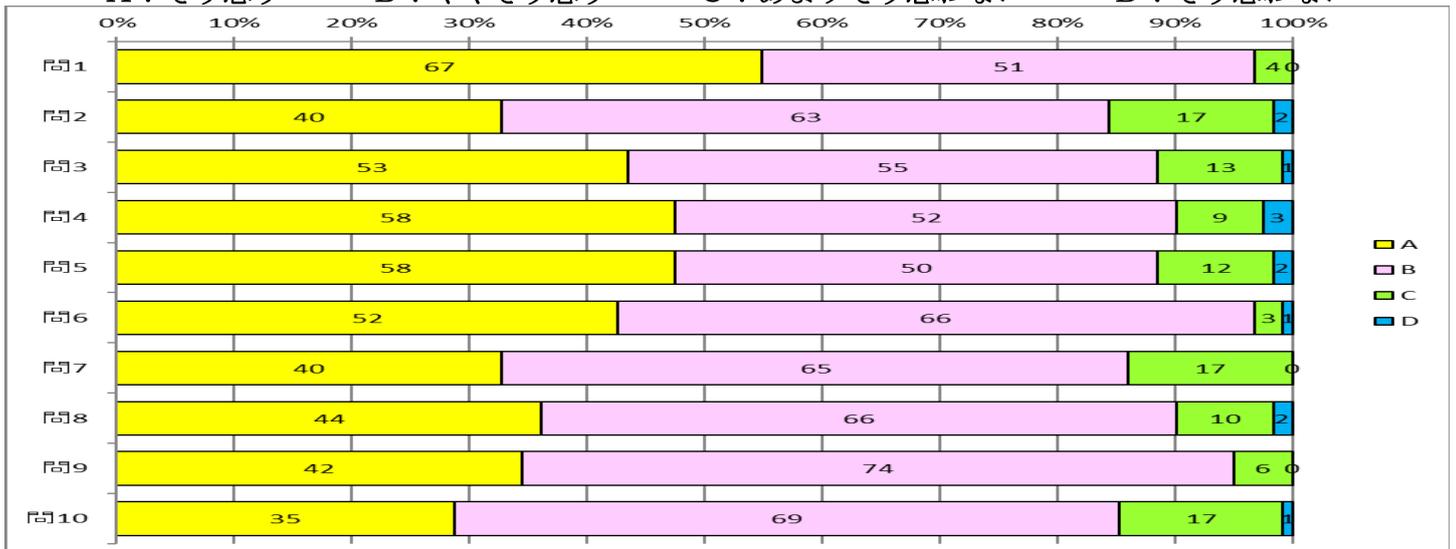
《保護者の設問・結果》

- 問1 お子さんは、「明るく、心豊かな子」に育っていると思われませんか。
- 問2 お子さんは、「自ら学び、よく考える子」に育っていると思われませんか。
- 問3 お子さんは、「健康で主体的に取り組む子」に育っていると思われませんか。
- 問4 お子さんは、「あいさつのできる子」に育っていると思われませんか。
- 問5 お子さんは、毎日喜んで登校していると思われませんか。
- 問6 学校（学級）の教育方針や子どもの様子は、学校・学級だよりや参観日等で伝わっていますか。
- 問7 学校は、子どものことについて気軽に相談できると思われませんか。
- 問8 学校は、いじめや不登校のない楽しい学級づくりに努めていると思われませんか。
- 問9 学校は、楽しくわかる授業づくりに努めていると思われませんか。
- 問10 学校は、安全で快適な教育環境が整っていると思われませんか。

□ 学校に望む（期待する）ことはなんですか。（3つまで選択）

- ①学力向上の推進 ②心の教育や人権教育充実 ③体力向上の推進 ④学校行事充実 ⑤体験活動充実
- ⑥社会ルールやきまりを守る指導 ⑦教職員の資質・指導力の向上 ⑧特別支援教育の充実
- ⑨防災・安全対策の充実 ⑩開かれた学校づくり ⑪施設・設備の充実 ⑫その他

A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない



【学校に望む（期待する）こと】：  
3つまで選択 上位の5項目を記載

- 1 ②心の教育や人権教育の充実 (81)
- 2 ①学力向上の推進 (76)
- 3 ⑥社会ルールやきまりを守る指導 (61)
- 4 ③体力向上の推進 (39)
- 5 ⑤体験活動充実 (30)

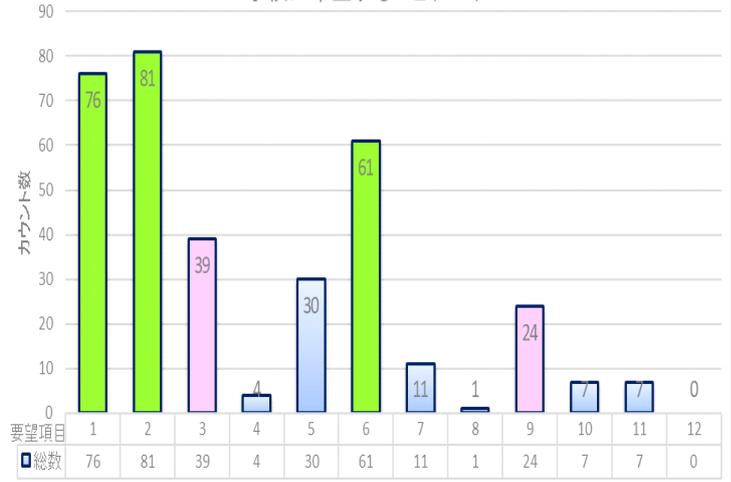
( ) 内：カウント数

【保護者のアンケート 考察】

肯定的評価（そう思う・ややそう思うを合計した割合）が、全体で91%（1学期89%）であり、10項目中9項目（1学期8項目）が85%以上であった。これらから全体的には概ね達成と思われる評価が得られた。また、90%以上であった項目が10項目中4項目（1学期3項目）であり、1学期よりも総じて良い傾向にある。特に設問7「気軽に相談」は86%で（1学期は82%）で、わずかに改善している。また、各設問でD「そう思わない」と回答しているのは6項目である。少数ではあるが学校は深刻に受け止めなくてはならない。特に、設問8「いじめ、不登校のない学級づくり」は、肯定的な評価90%ではあるが、逆に言えば1割は否定的な評価である。100%を目指さねばならない。

学校に要望する項目では、1学期と上位3つは同じ項目ではある。4位に「③体力向上の推進」が入っている。また「⑨防災・安全対策の充実学力向上」も増加していることから、豪雨被害でグラウンドの使用に制限があった影響が表れていると考えられる。

学校に希望すること(3つ)



## 【児童のアンケート設問・結果】

問1 明るく心豊かな子

①友達にやさしくできましたか。 ②友達をいじめたり、悪口などを言ったりしないで仲よく過ごせましたか。

問2 自ら学び、よく考える子

①自分から進んで勉強や宿題ができましたか。 ②自分でよく考え、勉強や生活ができましたか。  
③毎日、家庭学習に取り組みましたか。(目安は、学年×10分)

問3 健康で主体的に取り組む子

①体育の授業では、進んで運動ができましたか。 ②休み時間や放課後の部活でたくさん運動ができましたか。

問4 あいさつのできる子

①先生方 ②地域の方 ③おうちの人

問5 毎日楽しく登校できましたか。

問6 先生方は、あなたが困ったときに相談にのってくれましたか。

A：よくできた

B：多少できた

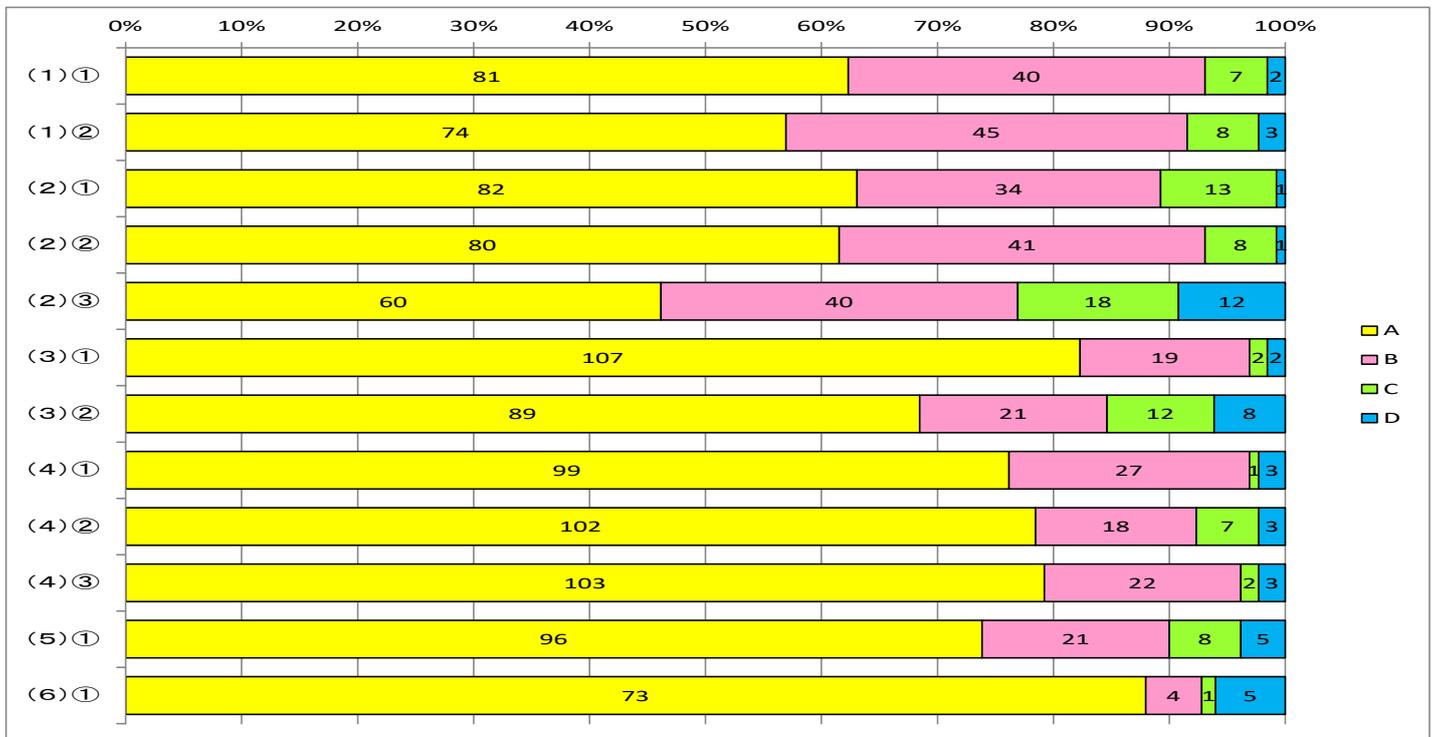
C：あまりできなかった

D：できなかった

## 【児童のアンケート 考察】

肯定的な評価（「よくできた」「多少できた」を合計した割合）が、1学期と同様の91%であった。設問全体を通じてよく達成しているという評価が得られた。

肯定的な評価が95%以上であった項目は「体育の授業で、進んで運動」「あいさつできる(先生方)」「あいさつできる(おうちの人)」と高かった。その反面「休み時間等での運動」は85%（1学期93%）で大幅に減少した。また「毎日、家庭学習に取り組む(学年×10分)」では、肯定的な評価が76%（1学期は75%）で2学期も変わらず12項目中、最も低かった。引き続き家庭学習は課題である。



## 全体的な考察

### 目指す児童像「明るく心豊かな子」「自ら学び、よく考える子」「健康で主体的に取り組む子」の観点から

- 「明るく心豊かな子」については、保護者の97%、子どもたちの92%が肯定的な評価をしている。また、『学校に望む(期待する)こと』でも「心や人権教育の充実」が最も回答が多く、期待に応えていけるよう、道徳教育を要に充実を図っていく。
- 「自ら学び、よく考える子」については、子どもたちの86%に対し保護者は、84%とやや肯定的な評価が低かった。『学校に望む(期待する)こと』の2番目に回答が多かった、「学力向上の推進」も踏まえ、3学期は「家庭学習」を充実させ、意欲化を図りたいと考える。また、保護者の「楽しくわかる授業づくり」の肯定的評価は95.1%（1学期に比べ5.3ポイントUP）であり、さらなる授業力向上とともに学習に向かう規律を身に付けることなどを全職員で取り組んでいく。
- 「健康で主体的に取り組む子」については、保護者は89%、子どもたちは91%である。肯定的な評価の差が縮まった。これはグラウンドの使用制限のために子どもたちの休み時間等の運動が伸び悩んだことが要因と考えられる。『学校に望む(期待する)こと』では「体力の向上」は4番目であり、体育科の授業や外遊び、部活動を通じて、体力の向上を目指したい。また、ゲームによる寝不足や基本的な生活習慣の乱れの影響も大きいと考えられる。ゲーム等の約束事(時間帯)を各学年の発達段階に応じて指導していく必要があると考える。子どもたちには、他のアンケートの結果も踏まえ、相談などのコミュニケーションを密にし、実態把握に努めて、「栄養・運動・休養」のバランスのとれた生活の大切さも指導していく。